

業務及び財産の状況に関する説明書

【2025年3月期】

事業年度	自	2024年4月1日
(第83期)	至	2025年3月31日

この説明書は、金融商品取引法第46条の4の規定に基づき、全ての営業所若しくは事務所に備え置いて公衆の縦覧に供するため、又はインターネット等で公表するために作成したものです。

いちよし証券株式会社

I. 当社の概況及び組織に関する事項

1. 商号

いちよし証券株式会社

2. 登録年月日（登録番号）

2007年9月30日（関東財務局長（金商）第24号）

3. 沿革及び経営の組織

(1) 会社の沿革

年月	沿革
1948年10月	証券取引法に基づく証券業者としての登録を受ける。
1949年4月	大阪証券取引所(現・株式会社大阪取引所)の正会員となる。
1950年8月	一吉証券株式会社に商号を変更する。
1962年12月	一吉不動産株式会社(1999年6月、いちよしビジネスサービス株式会社に商号変更(現・連結子会社))を設立する。
1968年4月	改正証券取引法に基づく証券業の免許を受ける。
1971年10月	東京証券取引所(現・株式会社東京証券取引所)の正会員となる。
1983年10月	御坊阪本証券株式会社を吸収合併する。
1986年6月	資本金を35億45百万円に増資し、総合証券となる。
1986年10月	一吉投資顧問株式会社を設立し、調査部門を分離独立する。
1986年11月	香港駐在員事務所を現地法人化して、一吉国際(香港)有限公司を設立する。
1987年5月	株式会社一吉調査センター(1990年4月、株式会社一吉証券経済研究所に商号変更)を設立し、一吉投資顧問株式会社の調査部門を同社に移管する。
1988年4月	日本銀行との当座預金取引を開始する。
1988年5月	国債元利金支払取扱店の承認を日本銀行から受ける。
1988年11月	名古屋証券取引所(現・株式会社名古屋証券取引所)の正会員となる。
1989年3月	日本銀行との手形貸付取引の承認を受ける。
1989年4月	東京証券取引所、大阪証券取引所の市場第二部に上場する。
1990年3月	株式会社一吉ファイナンス(1993年5月、株式会社一吉エンタープライズに商号変更)を設立する。
1992年4月	シンガポール駐在員事務所を現地法人化して、イチヨシ マーチャント バンク シンガポール リミテッドを設立する。
1992年5月	インドネシアの総合証券会社に資本参加し、社名をピー ティー イチヨシ アルファ セキュリティーズ(1999年4月、ピー ティー イチヨシ セキュリティーズ インドネシアに社名変更)とする。
1998年12月	改正証券取引法に基づく証券会社として登録。
1999年1月	抵当証券業の規則等に関する法律に基づく抵当証券業の登録を受ける。
2000年3月	株式会社一吉エンタープライズを清算する。
2000年7月	「一吉証券株式会社」から「いちよし証券株式会社」に商号変更する。
2000年7月	本店を東京都中央区に移転する。
2000年7月	「一吉投資顧問株式会社」から「いちよし投資顧問株式会社」に商号変更する。
2000年7月	「株式会社一吉証券経済研究所」から「株式会社いちよし経済研究所」に商号変更する。
2000年12月	いちよし投資顧問株式会社を連結子会社とする。

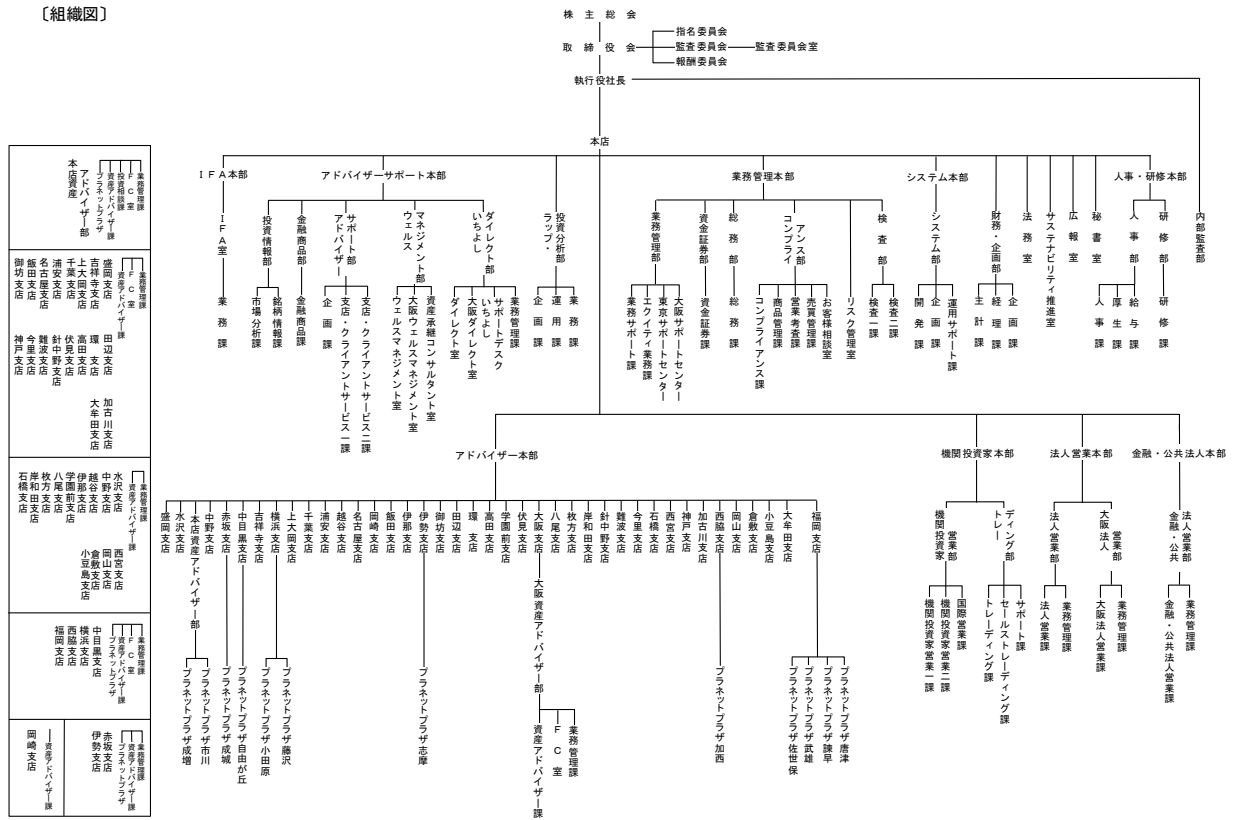
年月	沿 革
2000年12月	株式会社いちよし経済研究所を連結子会社とする。
2001年12月	ピー ティー イチヨシ セキュリティーズ インドネシアを連結子会社から除外とする。
2002年 4 月	抵当証券の販売の媒介等の業務を廃止する。
2002年 8 月	イチヨシ マーチャント バンク シンガポール リミテッドを清算する。
2003年 6 月	提出会社が委員会等設置会社(現・指名委員会等設置会社)へ移行する。
2006年 3 月	東京証券取引所、大阪証券取引所の市場第一部銘柄に指定される。
2006年 7 月	株式会社いちよし I R 研究所を設立し連結子会社とする。
2007年 9 月	金融商品取引法に基づく金融商品取引業者としての登録を受ける。
2009年 8 月	株式会社いちよし I R 研究所を清算する。
2010年 2 月	一吉国際(香港)有限公司を清算する。
2010年 4 月	環証券株式会社を吸収合併する。
2011年 1 月	飯田証券株式会社、佐世保証証券株式会社を吸収合併する。
2011年 9 月	株式交換により伊勢証券株式会社を連結子会社とする。
2012年 2 月	伊勢証券株式会社を吸収合併する。
2012年 5 月	「いちよし投資顧問株式会社」から「いちよしアセットマネジメント株式会社」に商号変更する。
2013年 3 月	大北証券株式会社を吸収合併する。
2014年 9 月	株式交換により西脇証券株式会社を連結子会社とする。
2014年12月	西脇証券株式会社を吸収合併する。
2019年 9 月	本店を東京証券会館(東京都中央区)に移転する。
2020年 1 月	いちよしファイナンシャルアドバイザー株式会社を設立し連結子会社とする。
2021年 1 月	いちよしファイナンシャルアドバイザー株式会社が金融商品取引法に基づく金融商品仲介業者としての登録を受ける。
2021年 7 月	「いちよしファイナンシャルアドバイザー株式会社」から「いちよし I F A 株式会社」に商号変更する。
2022年 4 月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行。
2023年 8 月	いちよしアセットマネジメント株式会社を東京証券会館(東京都中央区)に移転する。
2023年 8 月	有価証券の引受け業務を取り止める。
2023年 9 月	株式会社いちよし経済研究所を東京証券会館(東京都中央区)に移転する。
2023年11月	いちよしビジネスサービス株式会社を東京証券会館(東京都中央区)に移転する。
2025年 3 月	3月末現在、連結子会社は4社。提出会社の店舗数は52ヵ店となる。

(2) 経営の組織

当社の経営組織の概要は次のとおりであります。

(2025年3月31日現在)

【組織図】



4. 株式の保有数の上位 10 位までの株主の氏名又は名称並びにその株式の保有数及び総株主等の議決権に占める当該株式に係る議決権の数の割合

(2025 年 3 月 31 日現在)

氏名又は名称	保有株式数	割合
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,717 千株	14.82 %
2. BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	1,659	5.21
3. 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,235	3.88
4. 株式会社野村総合研究所	879	2.76
5. いちよし証券従業員持株会	725	2.27
6. STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	477	1.50
7. ジャフコ グループ株式会社	300	0.94
8. JP MORGAN CHASE BANK 385794 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	234	0.73
9. UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	187	0.58
10. BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	186	0.58
その他 (15,282名)	21,210	66.67
計 15,292名	31,813	100.00

(注) 当社は自己株式 6,117,472 株を所有しておりますが、当社は当該株式について議決権を有しない為、上記には記載しておりません。

5. 役員の名義又は名称

(2025年3月31日現在)

(1) 取締役の状況

役名	職名	氏名	常勤・非常勤の別
取締役	取締役会長 取締役会議長 指名委員 報酬委員	武樋政司	常勤
取締役	—	玉田弘文	常勤
取締役	—	山崎昇一	常勤
取締役	指名委員 監査委員	五木田彬	非常勤
取締役	報酬委員	真下陽子	非常勤
取締役	指名委員 監査委員	平野英治	非常勤
取締役	報酬委員 監査委員	沼田優子	非常勤

(注) 取締役 五木田彬氏、真下陽子氏、平野英治氏及び沼田優子氏は、社外取締役であります。

(2) 執行役の状況

役職名	氏名	代表権の有無	常勤・非常勤の別
執行役社長	玉田弘文	有	常勤
執行役専務	山崎昇一	有	常勤

6. 政令で定める使用人の氏名

(2025年3月31日現在)

(1) 金融商品取引業に関し、法令等を遵守させるための指導に関する業務を統括する者の氏名

氏名	役職名
小嶋 順一	業務管理本部長
立花 鉄平	コンプライアンス部長
山本 昌孝	検査部長

(2) 投資助言業務又は投資運用業に関し、助言又は運用を行う部門を統括する者の氏名

氏名	役職名
武田 正美	上席執行役員 機関投資家本部担当
中島 初康	ラップ・投資分析部長
松尾 敬	ラップ・投資分析部運用課長

7. 業務の種別

- ① 第一種金融商品取引業（金融商品取引法第28条第1項第1号）
 〃 （金融商品取引法第28条第1項第5号）
- ② 投資助言・代理業（金融商品取引法第28条第3項）
- ③ 投資運用業（金融商品取引法第28条第4項第1号）

・金融商品取引業に付随する業務（金融商品取引法第35条第1項）

- ① 有価証券の貸借業務
- ② 信用取引に付随する金銭の貸付業務
- ③ 保護預り有価証券担保貸付業務
- ④ 有価証券に関する顧客の代理業務
- ⑤ 受益証券に係る収益金、償還金又は解約金の支払いに係る代理業務
- ⑥ 投資証券等に係る金銭の分配、払戻金若しくは残余財産の分配又は利息若しくは償還金の支払に係る代理業務
- ⑦ 累積投資契約の締結業務
- ⑧ 有価証券に関連する情報の提供又は助言業務
- ⑨ 他の金融商品取引業者等の業務の代理
- ⑩ 他の事業者の経営に関する相談に応じる業務
- ⑪ 譲渡性預金その他金銭債権（有価証券に該当するものを除く。）の売買及び売買の媒介等の業務

8. 本店その他の営業所又は事務所の名称及び所在地

(2025年3月31日現在)

名 称	所 在 地
本店	東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号
盛岡支店	岩手県盛岡市大通1丁目3番4号
水沢支店	岩手県奥州市水沢東大通り2丁目1番1号
プラネットプラザ成増	東京都板橋区成増1丁目28番12号
プラネットプラザ市川	千葉県市川市市川1丁目22番6号
中野支店	東京都中野区中野5丁目65番3号
赤坂支店	東京都港区赤坂3丁目2番6号
プラネットプラザ成城	東京都世田谷区成城6丁目16番7号
中目黒支店	東京都目黒区東山1丁目6番2号
プラネットプラザ自由が丘	東京都世田谷区奥沢5丁目26番4号
吉祥寺支店	東京都武蔵野市御殿山1丁目1番3号
横浜支店	神奈川県横浜市西区北幸1丁目7番6号
プラネットプラザ小田原	神奈川県小田原市栄町1丁目14番52号
プラネットプラザ藤沢	神奈川県藤沢市藤沢462番地
上大岡支店	神奈川県横浜市港南区上大岡西1丁目13番8号
千葉支店	千葉県千葉市中央区新町3番地13
浦安支店	千葉県浦安市北栄1丁目12番22号
越谷支店	埼玉県越谷市南越谷1丁目16番地8
名古屋支店	愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号
岡崎支店	愛知県岡崎市明大寺本町1丁目34番地
飯田支店	長野県飯田市通り町3丁目34番地
伊那支店	長野県伊那市中央4611番地3
伊勢支店	三重県伊勢市宮後2丁目25番11号
プラネットプラザ志摩	三重県志摩市阿児町鵜方2007番地5
大阪支店	大阪府大阪市中央区高麗橋3丁目1番6号
今里支店	大阪府大阪市東成区大今里1丁目37番21号
針中野支店	大阪府大阪市東住吉区鷹合2丁目1番11号
難波支店	大阪府大阪市中央区難波2丁目1番2号
石橋支店	大阪府池田市井口堂3丁目1番7号
岸和田支店	大阪府岸和田市筋海町6番10号
枚方支店	大阪府枚方市大垣内町1丁目4-30
八尾支店	大阪府八尾市北本町1丁目2番12号
神戸支店	兵庫県神戸市中央区江戸町95番地
西宮支店	兵庫県西宮市高松町8番25号
加古川支店	兵庫県加古川市加古川町溝之口623番地
西脇支店	兵庫県西脇市下戸田92番地の3
プラネットプラザ加西	兵庫県加西市北条町古坂241
伏見支店	京都府京都市伏見区西大手町307-30
高田支店	奈良県大和高田市本町7番31号
学園前支店	奈良県奈良市学園北1丁目1番1号
御坊支店	和歌山県御坊市湯川町財部646-15
田辺支店	和歌山県田辺市下屋敷町30番地の2
環支店	和歌山県新宮市丹鶴3丁目5番5号
岡山支店	岡山県岡山市北区下石井2丁目1番3号

名 称	所 在 地
倉敷支店	岡山県倉敷市阿知 1 丁目 15 番 3 号
小豆島支店	香川県小豆郡土庄町淵崎甲 2063 番 1
大牟田支店	福岡県大牟田市有明町 1 丁目 1 番 2 号
福岡支店	福岡県福岡市博多区博多駅前 1 丁目 15 番 20 号
プラネットプラザ佐世保	長崎県佐世保市戸尾町 3 番 6 号
プラネットプラザ諫早	長崎県諫早市八坂町 1 番 13 号
プラネットプラザ武雄	佐賀県武雄市武雄町大字富岡 277 番地
プラネットプラザ唐津	佐賀県唐津市南城内 1 番 1 号

9. 他に行っている事業の種類

- ・金融商品取引業に定めるその他業務（金融商品取引法第 35 条第 2 項）

- ① 金地金の売買及び売買の媒介等の業務
- ② 保険募集業務
- ③ 自ら所有する不動産の賃貸に係る業務
- ④ 信託業務を営む金融機関のための遺言執行又は遺産の整理に係る契約の締結の媒介に係る業務（信託代理店業務）
- ⑤ その行う業務に係る顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務

- ・金融商品取引業に定める承認業務（金融商品取引法第 35 条第 4 項）

相続関連業務（遺言の保管・管理・執行業務及び遺産整理業務並びに財産承継プランニング業務の契約締結の媒介業務）

10. 苦情処理及び紛争解決の体制

業務の種別ごとに講じている苦情処理措置及び紛争解決措置

①第一種金融商品取引業

特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター（以下「F I N M A C」という。）との間で特定第一種金融商品取引業務に係る手続実施基本契約を締結する措置

②投資助言・代理業

金融商品取引法第37条の7第1項第3号ロに規定する苦情処理措置及び紛争解決措置として、一般社団法人日本投資顧問業協会（F I N M A Cに業務委託）を利用する措置

③投資運用業（但し、投資一任契約に係る業務に限る）

金融商品取引法第37条の7第1項第4号ロに規定する苦情処理措置及び紛争解決措置として、一般社団法人日本投資顧問業協会（F I N M A Cに業務委託）を利用する措置

11. 加入する金融商品取引業協会の名称

日 本 証 券 業 協 会

一 般 社 団 法 人 日 本 投 資 顧 問 業 協 会

12. 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号

大 阪 取 引 所

東 京 証 券 取 引 所

名 古 屋 証 券 取 引 所

13. 加入する投資者保護基金の名称

日 本 投 資 者 保 護 基 金

II. 業務の状況に関する事項

1. 第83期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の業務の概要

当事業年度（以下、当期）の日本経済は、緩やかな回復が続きました。個人消費は物価高の影響を受けながらも持ち直しがみられました。企業の生産活動は横ばい圏での動きでしたが、高水準の企業収益を背景に、設備投資は生産性向上の実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）投資などが堅調に推移しました。また、海外経済は一部の地域に弱さがみられましたが、インフレ圧力が和らぎ、緩やかな成長を辿りました。

日本の株式市場は、値動きの荒い展開を余儀なくされました。日経平均株価は円安や生成AI（人工知能）の成長期待などから7月11日に4万2,224円の最高値を付けました。しかし、米国景気への警戒や日銀による追加利上げを受けて8月5日には3万1,458円と、2023年10月31日以来の安値まで急落しました。その後、米経済のソフトランディング（軟着陸）への期待や日銀による早期の追加利上げ観測が後退するとともに円高も一服し市場にも落ち着きが戻りました。秋以降は、日米の政治への不透明感などもあり、上値が抑えられる展開が続く中、年明け1月20日のトランプ米大統領就任後は米国の関税引き上げによる世界経済への警戒などから日経平均株価は大幅下落となり、3万5,617円で当期末を迎えました。

外国為替市場で、対ドルの円相場は期初1ドル=151円台でしたが、7月3日には162円と約37年半ぶりの円安ドル高を付けました。その後、日米の金融政策の変更から円高が加速しました。140円割れまで円高が進みましたが、年明けにかけて再び円安への流れが強まり、当期末は149円台後半で終わりました。

高い成長可能性を有する企業向けの市場である東証グロース市場で、東証グロース市場指数は期初924でした。8月5日には628まで急落し、その後は反発に転じましたが、上値は重く当期末は836で終わりました。

当期における東証プライム市場の一日平均売買代金は5兆631億円、スタンダード市場の一日平均売買代金は1,379億円、グロース市場の一日平均売買代金は1,344億円となりました。

当社におきましては、お客様本位の「ストック型ビジネスモデル」の構築を目指し、中期経営計画「3・D」の目標である預り資産3兆円を達成すべく、引き続きファンドラップと投資信託によるストック型資産の増加に取り組んでおります。

この「ストック型ビジネスモデル」への転換の進捗度合を計る最適指標であるコストカバー率（投資信託の信託報酬やラップフィー等のいわゆる安定収益の販管費に対する比率）は、連結ベースで71.4%（前期は61.2%）となりました。

また、安定収益の受入手数料全体に占める割合は、連結ベースで64.1%（同10.8ポイント増）となりました。

ストック型資産の中核となります。いちよしファンドラップ「ドリーム・コレクション（愛称：ドリコレ）」につきましては、お客様の保守的な資産の中長期運用商品としてのニーズが引き続き広がっており、当期末の残高は3,273億円（前期末比21.5%増）となりました。昨年9月より申込受入れを開始いたしました。いちよしファンドラップ専用の次世代承継サービス「ドリコレ・パス」は、運用資産を換金することなく資産承継ができる、まだ国内では珍しいファンドラップの資産承継サービスです。同サービスと合わせて、世代を超えた中長期的な資産形成をサポートして参ります。

また、投資信託（ラップを除く）につきましては、「いちよし・グローバル株式ファンド（愛称：いちばん星）」や「いちよし日本好配当株&Jリートファンド（愛称：明日葉（あしたば）」等、お客様のニーズに即した提案に努めて参りました。

「いちばん星」に続くノーロード・ファンド（購入時手数料無し）、お客様ニーズがある分配型の新商品として昨年6月に取扱いを開始いたしました「いちよし・グローバル好配当戦略ファンド（愛称：ミズナラ）」につきましても投資信託の預り資産拡大に引き続き寄与しております。

当期末の投資信託の残高は、7,623億円（前期末比4.3%減少）となりました。

グループのいちよしアセットマネジメントにおきましては、運用資産残高が引き続き増加し、当期末の運用資産残高は5,826億円（前期末比7.5%増）となりました。

株式につきましては、低金利環境、インフレの下で安定性と配当に注目した資産株のご提案に加え、当社グループの強みであるリサーチ力を生かした中小型成長企業への投資のご提案をするなど、引き続きお客様の中長期における資産形成としての株式投資をお勧めして参りました。

（事業成績の概要）

委託手数料4,413百万円（同18.6%減）、募集・売出し取扱手数料1,615百万円（同37.5%減）、その他の受入手数料9,507百万円（同20.7%増）等により受入手数料全体で15,536百万円（同2.2%減）となりました。

販売費・一般管理費に関しては、人件費の増加等により15,432百万円（同2.9%増）となりました。

当期の経常損益は1,309百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

特別損益は減損損失等により26百万円の損失（同1百万円の増加）となりました。

法人税等は200百万円（同245百万円の減少）となりました。

当期純利益は1,082百万円（同16.6%減）となりました。

2. 業務の状況を示す指標

(1) 経営成績等の推移

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
資本金	14,577	14,577	14,577
発行済株式総数(千株)	40,431	37,931	37,931
営業収益	14,295	16,131	15,752
(受入手数料)	14,055	15,880	15,536
((委託手数料))	4,615	5,423	4,413
((引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料))	131	0	—
((募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料))	2,680	2,584	1,615
((その他の受入手数料))	6,627	7,873	9,507
((有価証券等に関する情報提供料))	116	101	105
((アドバイザリー／コンサルティング手数料))	13	—	—
((M&A関係収益))	5	—	—
((投資助言・代理報酬))	71	102	118
((保険関係収益))	69	62	28
((顧客紹介料))	17	22	61
(トレーディング損益)	71	91	45
((株券等トレーディング損益))	52	75	25
((債券等トレーディング損益))	5	1	1
((その他のトレーディング損益))	13	13	18
純営業収益	14,254	16,092	15,711
経常利益	786	1,772	1,309
当期純利益	793	1,297	1,082

(2) 有価証券引受・売買等の状況

① 株券の売買高の状況(電子記録移転有価証券表示権利等に係るものを除く。)

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己	7,579	7,339	3,457
委託	2,000,695	2,373,599	2,542,172
計	2,008,274	2,380,938	2,545,629

② 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、
 売出し及び 私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況
 (電子募集取扱業務に係るもの及び電子記録移転有価証券表示権利等に係るものを除く。)

(単位：百万円)

区 分		引受高	売出高	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額	募集の 取扱高	売出しの 取扱高	私募の 取扱高	特定投資家 向け売付け 勧誘等の取 扱高
2023年 3月期	株券	2,144千株 1,170	2,394千株 1,300	— —	— —	1千株 1	— —	— —
	国債証券	—			116		—	—
	地方債証券	—			—		—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	—	—	—
	受益証券				479,189	—	82,210	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
2024年 3月期	株券	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	国債証券	—			35		—	—
	地方債証券	—			—		—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	102	—	—
	受益証券				572,859	—	66,206	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
2025年 3月期	株券	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	国債証券	—			231		—	—
	地方債証券	—			—		—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	—	—	—
	受益証券				553,384	—	103,244	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—

(3) その他業務の状況

(単位：百万円)

区 分	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
保険募集業務	69	62	28
自ら所有する不動産の 賃貸に係る業務	3	—	—
信託業務を営む金融機関 のための遺言執行又は遺 産の整理に係る契約の締 結の媒介に係る業務（信 託代理店業務）	—	—	—
その行う業務に係る顧客 に対し他の事業者のあっ せん又は紹介を行う業務	17	22	61
相続関連業務	2	2	—

(4) 自己資本規制比率の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本規制比率 ($A/B \times 100$)	491.5 %	503.5 %	434.9 %
固定化されていない 自己資本 (A)	19,772	19,916	17,953
リスク相当額合計 (B)	4,022	3,955	4,127
市場リスク相当額	87	10	13
取引先リスク相当額	401	438	409
基礎的リスク相当額	3,533	3,506	3,704
暗号資産等による 控除額	—	—	—

(5) 使用人の総数及び外務員の総数

(単位：名)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
使 用 人	891	870	880
(うち 外 務 員)	884	861	868

Ⅲ. 財産の状況に関する事項

1. 経理の状況

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	15,806	12,355
預託金	7,840	6,965
トレーディング商品	-	0
デリバティブ取引	-	0
約定見返勘定	-	6
信用取引資産	8,171	8,332
信用取引貸付金	8,009	8,297
信用取引借証券担保金	161	35
有価証券担保貸付金	-	70
借入有価証券担保金	-	70
立替金	12	122
募集等払込金	3,566	2,654
短期貸付金	31	35
前払金	9	21
前払費用	54	68
未収入金	14	43
未収収益	1,423	1,058
貸倒引当金	△1	△2
流動資産計	36,928	31,732
固定資産		
有形固定資産	2,427	2,270
建物	968	859
器具備品	618	576
土地	822	822
リース資産（純額）	18	12
無形固定資産	497	677
ソフトウェア	496	676
電話加入権	0	0
その他	0	0
投資その他の資産	3,046	3,128
投資有価証券	※1 551	※1 558
関係会社株式	1,136	1,136
出資金	2	2
従業員に対する長期貸付金	20	19
長期差入保証金	918	914
長期前払費用	1	1
繰延税金資産	145	140
前払年金費用	278	362
その他	71	71

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
貸倒引当金	△79	△79
固定資産計	5,972	6,077
資産合計	42,901	37,809

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
約定見返勘定	0	-
信用取引負債	3,079	2,018
信用取引借入金	※1 2,722	※1 1,967
信用取引貸証券受入金	357	50
有価証券担保借入金	22	26
有価証券貸借取引受入金	22	26
預り金	10,160	8,899
受入保証金	1,100	590
短期借入金	210	210
リース債務	6	6
前受収益	1	1
未払金	359	255
未払費用	345	310
未払法人税等	523	104
賞与引当金	534	719
流動負債計	16,343	13,141
固定負債		
リース債務	12	6
再評価に係る繰延税金負債	7	8
その他の固定負債	64	64
固定負債計	84	79
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	※2 189	※2 203
特別法上の準備金計	189	203
負債合計	16,618	13,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,577	14,577
資本剰余金		
資本準備金	3,705	3,705
その他資本剰余金	254	242
資本剰余金合計	3,959	3,948
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	11,439	11,371
利益剰余金合計	11,439	11,371
自己株式	△2,634	△4,484
株主資本合計	27,343	25,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44	55
土地再評価差額金	△1,125	△1,125
評価・換算差額等合計	△1,080	△1,070

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
新株予約権	20	43
純資産合計	26,282	24,385
負債・純資産合計	42,901	37,809

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)
営業収益		
受入手数料	15,880	15,536
委託手数料	5,423	4,413
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	0	-
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	2,584	1,615
その他の受入手数料	7,873	9,507
トレーディング損益	※1 91	※1 45
金融収益	※2 159	※2 170
営業収益計	16,131	15,752
金融費用		
金融費用	※10 38	※10 41
純営業収益	16,092	15,711
販売費・一般管理費		
取引関係費	※3 1,332	※3 1,439
人件費	※4 7,410	※4 7,802
不動産関係費	※5 2,229	※5 2,246
事務費	※6 2,818	※6 2,803
減価償却費	※7 461	※7 425
租税公課	※8 244	※8 230
その他	※9 495	※9 484
販売費・一般管理費計	14,993	15,432
営業利益	1,099	279
営業外収益		
投資有価証券配当金	※11 620	※11 928
投資事業組合運用益	19	65
受取保険金及び配当金	23	20
その他	21	16
営業外収益計	684	1,030
営業外費用		
投資事業組合運用損	11	0
その他	0	0
営業外費用計	12	0
経常利益	1,772	1,309
特別利益		
投資有価証券売却益	1	1
固定資産売却益	※12 18	-
新株予約権戻入益	3	0
特別利益計	23	1

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)
特別損失		
固定資産除却損	※13 0	※13 0
和解金	11	4
減損損失	19	10
金融商品取引責任準備金繰入れ	19	13
特別損失計	50	27
税引前当期純利益	1,744	1,283
法人税、住民税及び事業税	543	202
法人税等調整額	△96	△1
法人税等合計	446	200
当期純利益	1,297	1,082

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	14,577	3,705	1,875	5,580	11,290	11,290	△4,293	27,155	
当期変動額									
剰余金の配当					△1,148	△1,148		△1,148	
当期純利益					1,297	1,297		1,297	
自己株式の取得							△0	△0	
自己株式の処分			△11	△11			49	38	
自己株式の消却			△1,609	△1,609			1,609	-	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	△1,621	△1,621	149	149	1,659	187	
当期末残高	14,577	3,705	254	3,959	11,439	11,439	△2,634	27,343	

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	20	△1,125	△1,104	12	26,063
当期変動額					
剰余金の配当					△1,148
当期純利益					1,297
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					38
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	23	-	23	7	31
当期変動額合計	23	-	23	7	219
当期末残高	44	△1,125	△1,080	20	26,282

当事業年度(自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	14,577	3,705	254	3,959	11,439	11,439	△2,634	27,343	
当期変動額									
剰余金の配当					△1,150	△1,150		△1,150	
当期純利益					1,082	1,082		1,082	
自己株式の取得							△1,901	△1,901	
自己株式の処分			△11	△11			51	39	
自己株式の消却								-	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	△11	△11	△68	△68	△1,850	△1,930	
当期末残高	14,577	3,705	242	3,948	11,371	11,371	△4,484	25,412	

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	44	△1,125	△1,080	20	26,282
当期変動額					
剰余金の配当					△1,150
当期純利益					1,082
自己株式の取得					△1,901
自己株式の処分					39
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	11	△0	10	22	33
当期変動額合計	11	△0	10	22	△1,897
当期末残高	55	△1,125	△1,070	43	24,385

〔注記事項〕

(貸借対照表関係)

※1 担保に供している資産は次のとおりであります。

(前事業年度)

被担保債務		担保に供している資産	
科目	期末残高 (百万円)	投資有価証券 (百万円)	計 (百万円)
信用取引借入金	2,722	34	34
計	2,722	34	34

(注) 上記のほか、信用取引の自己融資見返り株券を証券金融会社からの借証券の担保として132百万円、信用取引借入金の担保として2,295百万円、取引所等の会員信認金の代用として24百万円、取引参加者保証金等の代用として88百万円、清算基金の代用として194百万円、先物取引証拠金の代用として148百万円、当初証拠金の代用として505百万円を差し入れております。

(当事業年度)

被担保債務		担保に供している資産	
科目	期末残高 (百万円)	投資有価証券 (百万円)	計 (百万円)
信用取引借入金	1,967	45	45
計	1,967	45	45

(注) 上記のほか、信用取引の自己融資見返り株券を証券金融会社からの借証券の担保として348百万円、信用取引借入金の担保として1,229百万円、取引所等の会員信認金の代用として58百万円、取引参加者保証金等の代用として202百万円、清算基金の代用として212百万円、先物取引証拠金の代用として116百万円、当初証拠金の代用として649百万円を差し入れております。

※2 特別法上の準備金の計上を規定した法令の条項は次のとおりであります。

金融商品取引責任準備金

金融商品取引法第46条の5

3 有価証券等を差し入れた場合等の時価額

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
①信用取引貸証券	415百万円	61百万円
②信用取引借入金本担保証券	2,756	1,869
③貸付有価証券	22	24

4 有価証券等の差入れを受けた場合等の時価額

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
①信用取引貸付金本担保証券	8,232百万円	7,453百万円
②信用取引借証券	161	35
③借入有価証券	—	63
④受入保証金代用有価証券	17,650	13,813

(損益計算書関係)

※1 トレーディング損益の内訳

(前事業年度)

	実現損益 (百万円)	評価損益 (百万円)	計 (百万円)
株券等トレーディング損益	75	—	75
債券等トレーディング損益	1	0	1
その他のトレーディング損益	13	0	13
計	90	0	91

(当事業年度)

	実現損益 (百万円)	評価損益 (百万円)	計 (百万円)
株券等トレーディング損益	25	—	25
債券等トレーディング損益	1	—	1
その他のトレーディング損益	18	0	18
計	45	0	45

※2 金融収益の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
信用取引受取利息・品貸料	152百万円	158百万円
受取債券利子	0	0
受取利息	2	9
その他	4	2
計	159	170

※3 取引関係費の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
支払手数料	167百万円	206百万円
取引所・協会費	172	179
通信・運送費	348	358
旅費・交通費	163	194
広告宣伝費	333	348
交際費	146	152
計	1,332	1,439

※4 人件費の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
役員報酬・従業員給料	5,525百万円	5,769百万円
歩合外務員給料	12	11
福利厚生費	963	1,023
賞与引当金繰入	534	719
退職給付費用	257	151
その他	117	127
計	7,410	7,802

※5 不動産関係費の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
不動産費	1,263百万円	1,244百万円
器具・備品費	966	1,002
計	2,229	2,246

※6 事務費の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
事務委託費	2,770百万円	2,755百万円
事務用品費	48	48
計	2,818	2,803

※7 減価償却費の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
有形固定資産	250百万円	192百万円
無形固定資産	209	232
投資その他の資産	1	0
計	461	425

※8 租税公課の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
事業税付加価値割及び資本割	189百万円	176百万円
事業所税	11	12
固定資産税及び自動車税	23	23
その他	20	17
計	244	230

※9 その他の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
図書費	13百万円	12百万円
営業資料費	307	306
水道光熱費	85	89
会議費	1	0
諸会費	10	11
寄付金	7	5
その他	69	58
計	495	484

※10 金融費用の内訳

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
信用取引支払利息・品借料	31百万円	31百万円
支払利息	5	8
その他	1	1
計	38	41

※11 関係会社に対する営業外収益は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
受取配当金	608百万円	912百万円

※12 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物及び土地	18百万円	—百万円

※13 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物	0百万円	0百万円
器具備品	0	0
計	0	0

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度 (自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	6,668,047	62	2,577,200	4,090,909

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 62 株

減少数の主な内訳は、次のとおりであります。

会社法第 178 条の規定に基づく自己株式の消却による減少 2,500,000 株

ストック・オプションの権利行使による減少 77,200 株

当事業年度 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	4,090,909	2,106,663	80,100	6,117,472

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

会社法第 165 条第 2 項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得による増加 2,106,600 株

単元未満株式の買取りによる増加 63 株

減少数の主な内訳は、次のとおりであります。

ストック・オプションの権利行使による減少 80,100 株

2. 借入金の主要な借入先及び借入金額

(単位：百万円)

2024年3月31日現在			2025年3月31日現在		
借入先	借入金の種類	借入金額	借入先	借入金の種類	借入金額
株式会社三菱UFJ銀行	短期借入金	150	株式会社三菱UFJ銀行	短期借入金	150
株式会社りそな銀行	短期借入金	20	株式会社りそな銀行	短期借入金	20
株式会社みずほ銀行	短期借入金	20	株式会社みずほ銀行	短期借入金	20
株式会社三井住友銀行	短期借入金	20	株式会社三井住友銀行	短期借入金	20
日本証券金融株式会社	信用取引借入金	2,722	日本証券金融株式会社	信用取引借入金	1,967

3. 保有する有価証券（トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券を除く。）の
取得価額、時価及び評価損益

時価のあるもの

(単位：百万円)

	2024年3月期				2025年3月期		
	取得原価	貸借対照表 計上額	評価損益		取得原価	貸借対照表 計上額	評価損益
貸借対照 表計上額 が取得価 額を超えるもの 株式	32	64	32	貸借対照 表計上額 が取得価 額を超えるもの 株式	32	77	44
小計	32	64	32	小計	32	77	44
貸借対照 表計上額 が取得価 額を超え ないもの 株式 その他	-	-	-	貸借対照 表計上額 が取得価 額を超え ないもの 株式 その他	-	-	-
小計	-	-	-	小計	-	-	-
合計	32	64	32	合計	32	77	44

時価のないもの

	2024年3月期			2025年3月期	
	貸借対照表計上額（百万円）			貸借対照表計上額（百万円）	
非上場株式 投資事業有限 責任組合及び それに類する 組合への出資	1,328	294	非上場株式 投資事業有限 責任組合及び それに類する 組合への出資	1,327	290
合計	1,623		合計	1,618	

4. デリバティブ取引（トレーディング商品に属するものとして経理された取引を除く。）の
契約価額、時価及び評価損益

該当事項はありません。

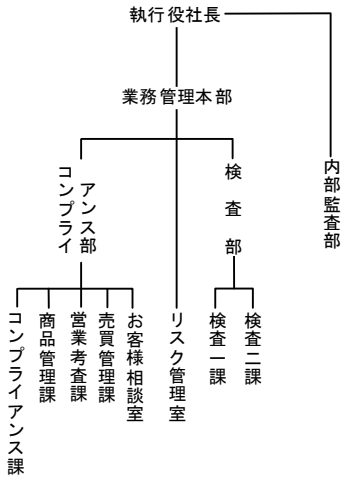
5. 財務諸表に関する会計監査人等による監査の有無

当社は、会社法第436条第2項及び金融商品取引法第193条の2の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

IV. 管理の状況

1. 内部管理の状況の概要 (2025年3月31日現在)

(1) 内部管理部门の組織



(2) 業務分掌

内部管理部门各部署の内部管理に関する業務分掌は次のとおりであります。

業務管理本部

- コンプライアンス部門を統括し、その業務の推進をはかる
- 総務業務部門を統括し、その業務の推進をはかる

コンプライアンス部

- 支店等の法令順守の実効性を維持する為のサポート及び指導教育に関する事項
- 支店等の法令順守の取組みに関する会議等に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

コンプライアンス課

- コンプライアンスに係る企画・立案に関する事項
- コンプライアンスに関する指導及び教育に関する事項
- 過誤訂正等に対する精査に関する事項
- 証券事故・法令違反行為等に対する精査及び監督官庁、金融商品取引所、日本証券業協会等への報告に関する事項
- 外部委託先の選定審査及び管理に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

商品管理課

- 不公正、不正取引等を誘引する表示の未然防止のための監視及び指導に関する事項
- 監視・調査結果による各部店への指導、勧告に関する事項
- 広報・広告・資料・ホームページ等の表示の審査に関する事項
- 商品の適格審査に関する事項
- 利益相反管理に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

営業考査課

- お客様の取引状況等についての考査及びお客様の実態調査に関する事項
- 外務員の営業活動状況についての考査に関する事項
- 新規のお客様のうち、大口現金取引のお客様に関するお客様カードの内容審査及び異常のチェック
- 信用取引、先物オプション取引等お客様に関するお客様カードの内容審査及び異常チェック
- お客様の信用取引及び発行日決済取引に係る委託保証金並びに先物オプション取引等に係る委託証拠金に関する事項
- 考査、調査結果による各部店への勧告、指導
- その他前記各項に付帯する事項

売買管理課

- 不公正、不正取引等の未然防止のための監視及び指導に関する事項
- 有価証券等の価格形成動向の監視及び調査に関する事項
- 内部者取引の未然防止のための情報管理、お客様管理、売買管理及び役職員の服務に関する事項
- 幹事銘柄の株価動向、市場出来高、自社関与率及び売買手口等の監視、調査に関する事項
- 監視、調査結果による各部店への指導、勧告に関する事項
- 監督官庁、金融商品取引所、日本証券業協会等からの売買内容等の照会に対する報告に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

お客様相談室

- お客様の苦情等の対応に関する事項
- トラブル案件等への対応、処理、解消及び未然防止に関する事項
- 企業行動適正化の推進に関する事項
- お客様との紛争の調査及び処理に関する事項
- お客様との調停及び訴訟に関する事項
- 反社会的勢力等との関係遮断に関する事項
- 疑わしい取引の届出に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

リスク管理室

- リスク管理指標の作成に関する事項
- 自己ポジション枠、ロスカットの管理に関する事項
- リスクマネジメントに関する事項
- マネー・ローンダリング防止及びテロ資金供与（以下、「マネロン等」という）リスクの特定・評価に関する事項
- マネロン等リスクに関する低減措置等の企画・立案に関する事項
- マネロン等に係る監督官庁、金融商品取引所、日本証券業協会等への報告に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

検査部

検査一課

検査二課

- 社内外検査に関する事項
- 検査結果に基づく対象部店への指導、勧告に関する事項
- 役職員に係る事故の調査及び処理に関する事項
- 関係会社に係る検査に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

内部監査部

- 当社及び子会社に係る「業務監査等」の実施とその評価に関する事項
- 当社及び子会社に係る「財務報告に係る内部統制」の評価に関する事項
- 前記各項の評価に基づく業務上の是正意見、改善提案に関する事項
- その他前記各項に付帯する事項

(3) 顧客からの相談及び苦情に対する具体的な取扱い方法

- 当社は、お客様からのご相談・ご要望・苦情等を、お客様相談室、いちよしダイレクト部及び本・支店にて承り、お客様相談室にて一元的に管理しております。
- お客様からのご相談・ご要望・苦情等に対しましては、営業部門と内部管理部門にて連携を図り、適切な対応に努めております。

(4) 内部監査体制

- 内部監査部門として検査部・内部監査部を設置し、内部監査を実施することにより、内部統制の有効性と効率性を確保しております。
- 内部監査の結果については、執行役社長、内部管理統括責任者、内部統制委員会、監査委員会へ直接報告が行われております。

2. 分別管理等の状況

(1) 金融商品取引法第43条の2の規定に基づく分別管理の状況

① 顧客分別金信託の状況

(単位：百万円)

項目	2024年3月31日現在の金額	2025年3月31日現在の金額
直近差替計算基準日の顧客分別金必要額	7,723	6,855
期末日現在の顧客分別金信託額	7,830	6,960
期末日現在の顧客分別金必要額	7,067	6,578

② 有価証券（電子記録移転有価証券表示権利等を除く。）の状況

イ 保護預り等有価証券

有価証券の種類		2024年3月31日現在		2025年3月31日現在	
		国内証券	外国証券	国内証券	外国証券
株券	株数	千株 699,193	千株 42,864	千株 719,784	千株 45,859
債券	額面金額	百万円 41,773	百万円 1,647	百万円 39,773	百万円 1,379
受益証券	口数	百万口 1,295,505	百万口 1,761	百万口 1,318,645	百万口 1,795
その他	額面金額	—	—	—	—

ロ 受入保証金代用有価証券

有価証券の種類		2024年3月31日現在	2025年3月31日現在
		数量	数量
株券	株数	千株 7,204	千株 7,164
債券	額面金額	百万円 —	百万円 —
受益証券	口数	百万口 3,654	百万口 3,279
その他	額面金額	—	—

ハ 管理の状況

(2025年3月31日現在)

管理場所及び国名	管理方法	区 分	数・額面金額	単 位
自社 (日本)	単純管理	株 券	2,580	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
(株)証券保管振替機構 (日本)	振替決済	株 券	724,544	千株
		債 券	609	百万円
		受益証券	1,321,924	百万口
		そ の 他	—	
日本銀行 (日本)	振替決済	株 券	—	
		債 券	39,164	百万円
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
野村証券(株) (日本)	混合管理	株 券	35	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
大和証券(株) (日本)	混合管理	株 券	1	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
BlackRock (Luxembourg)	混合管理	株 券	—	
		債 券	—	
		受益証券	0	百万口
		そ の 他	—	
みずほ証券(株) (日本)	混合管理	株 券	—	
		債 券	—	
		受益証券	0	百万口
		そ の 他	—	

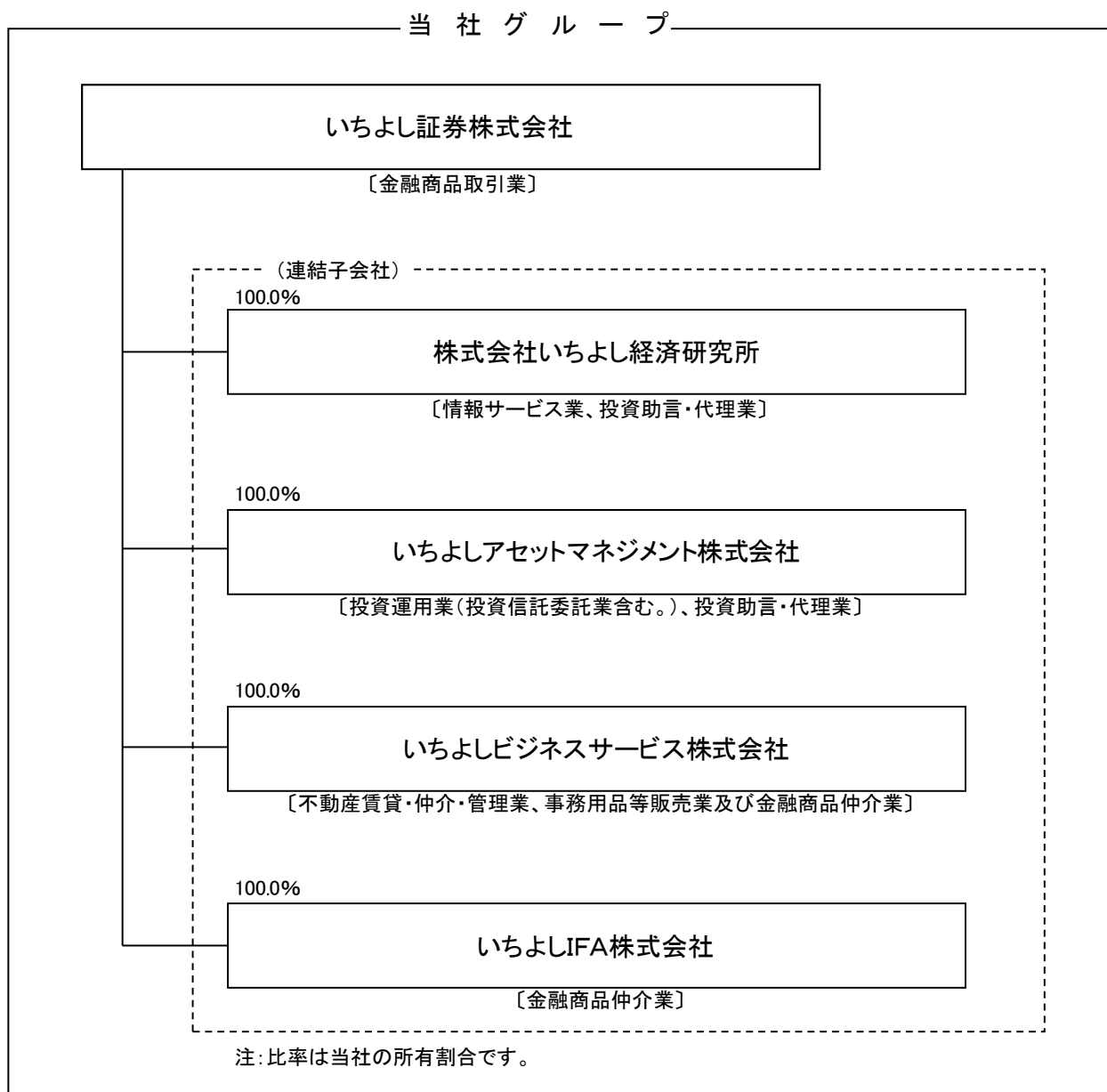
管理場所及び国名	管理方法	区 分	数・額面金額	単 位
Allianz Global Investors (Hong Kong)	混合管理	株 券	8	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
Nomura Bank Luxembourg (Luxembourg)	混合管理	株 券	—	
		債 券	—	
		受益証券	1,795	百万口
		そ の 他	—	
Deutsche Asset (Luxembourg)	混合管理	株 券	—	
		債 券	—	
		受益証券	0	百万口
		そ の 他	—	
Bangkok Bank (Thailand)	混合管理	株 券	75	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
東海東京証券 (株) (日本)	混合管理	株 券	—	
		債 券	727	百万円
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
内藤証券 (株) (日本)	混合管理	株 券	4	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	
BNY Mellon (U. S. A.)	混合管理	株 券	1,040	千株
		債 券	—	
		受益証券	—	
		そ の 他	—	

管理場所及び国名	管理方法	区 分	数・額面金額	単 位
Mitsubishi UFJ Investor Services & Banking S. A. (Luxembourg)	混合管理	株 券	44,518	千株
		債 券	652	百万円
		受益証券	0	百万口
		そ の 他	—	

V. 連結子会社等の状況に関する事項 (2025年3月31日現在)

1. 当社及びその子会社等の集団の構成

当社グループは、当社及び当社の連結子会社4社で構成され、主たる事業として、金融商品取引業を中核とする投資・金融サービス業を展開しております。



2. 子会社等の商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の額、事業の内容等

商号又は名称	本店所在地又は主たる事務所の所在地	資本金の額	事業の内容	当社及び他の子会社等の保有する議決権の数の合計	子会社等の総株主等の議決権に占める当該保有する議決権の数の割合
(連結子会社)					
株式会社いちよし経済研究所	東京都中央区	20 百万円	情報サービス業、投資助言・代理業	400 個	所有割合 100%
いちよしアセットマネジメント株式会社	東京都中央区	490 百万円	投資運用業(投資信託委託業含む)、投資助言・代理業	15,200 個	所有割合 100%
いちよしビジネスサービス株式会社	東京都中央区	240 百万円	不動産賃貸・仲介・管理業、事務用品等販売業及び金融商品仲介業	4,800 個	所有割合 100%
いちよし IFA 株式会社	東京都中央区	150 百万円	金融商品仲介業	3,000 個	所有割合 100%



いちよし証券株式会社

(<https://www.ichiyoshi.co.jp>)

(2025年3月31日時点の情報)

設立: 1950年8月

資本金: 145億円

株式の上場: 東証プライム市場

代表者: 執行役社長 玉田 弘文

役職員数: 887人

(うち登録外務員数 870人)

金融商品取引業の登録状況: 第一種金融商品取引業

登録番号: 関東財務局長(金商)第24号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

加入取引所: 大阪取引所、東京証券取引所、名古屋証券取引所

加入投資者保護基金: 日本投資者保護基金

指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(略称:FINMAC)

【個人・一般事業法人向けの商品・サービス(主なもの)】

取扱商品 取引形態	株式		債券		投資 信託	ETF・ ETN	信用 取引	先物・ オペ ション	ファンド ラップ	生命 保険
	国内 株	外国 株	国内 債	外国 債						
対面取引	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイレクト	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×

○: 取扱あり。×: 取扱なし。詳細は、各支店までお問い合わせください。

当社では、上記の商品・サービスのほか、機関投資家向けの各種商品やサービスの提供なども行っております。当社の業務の詳細は、「業務及び財産の状況に関する説明書」(6ページ、8ページ)を御参照ください。